

## 令和6年度 金沢市福祉ボランティア活動育成事業 実績報告書

社会福祉法人金沢市社会福祉協議会 会長 様

以下のとおり助成金の報告をします。 ※ 提出期限 令和7年4月7日(月)

団体名	ボランティアグループ〇〇〇		
代表者	金沢 太郎 印	代表者 連絡先	(△△△) △△△-△△△△
担当者	金沢 花子	担当者 連絡先	〒□□□-□□□□ 金沢市〇〇町△△-△ <u>自宅 (△△△) △△△-△△△△</u> <u>会社 (△△△) △△△-△△△△</u> <u>携帯 (△△△) △△△-△△△△</u>
活動 内 容	助成金額 〇〇〇〇〇円		
	1. 会員同士での打ち合わせ、企画のための会議、会員の資質向上を図るための研修、事前練習等の団体の構成員のみで完結する自主的活動の実績を具体的に記入してください。 (内容・日時・場所・回数など)  ○定例会(年4回)(〇月〇日、〇月〇日、〇月〇日、〇月〇日) 10時~11時 場所: ××公民館 内容: 施設訪問日の計画、決算報告など  ○研修会(年2回)(〇月〇日) 9時~17時 場所: ××福祉センター 内容: 介護福祉士から認知症や傾聴について学ぶ  ○手作り教室(年1回)(〇月〇日) 9時~11時 場所: ××公民館 内容: 児童養護施設の子ども達へクリスマスカードと小物を作成		
2. 1年間の活動を通じて得られたことを具体的に記入してください。  ○一人暮らし高齢者へ〇〇を贈ることで交流が深まり、地域の見守りに役立った。 ○デイサービス**での活動を通して、高齢者との交流を深めることができた。			

※金沢市福祉ボランティア活動育成事業応募要項の2に掲げるボランティア活動(高齢者、障害者、生活困窮者等への直接的なボランティア活動)の実績は、ボランティア活動報告表(様式6)に記載してください。

※活動内容に関する資料(写真やチラシ等)がありましたら添付してください。



記入例

(助成金返納無し)

令和6年度金沢市福祉ボランティア活動育成事業 収支決算書

団体名 ボランティアグループ〇〇〇

(単位：円)

収入	決算額	内訳(必ずご記入下さい)
本助成金(決定額)	70,000	金沢市福祉ボランティア活動育成事業決定額
他の助成金・補助金等	46,000	〇〇助成金 20,000 円、〇〇補助金 26,000 円
団体・グループ年会費	30,000	@2,000×15名
参加費・売上金等	29,400	バザー売上げ
積立金	30,000	配食サービス用エプロン購入費
前年度繰越金	7,700	
その他の収入	0	
<b>合計 ※1</b>	213,100	

(単位：円)

支出	決算額	内訳(必ずご記入下さい)
対象経費	通信費	1,680 切手@84×20枚
	賃借料	5,000 〇〇公民館使用料
	消耗品費	3,000 コピー用紙、ボールペンなど
	器材等購入費	30,000 配食サービス用エプロン購入@2,000×15枚
	原材料費	30,000 配食サービス用食材購入
	交通費	54,000 @200×15人×12月
	会議費	9,000 お茶代@150×15名×4回
	研修費	20,000 認知症・傾聴についての研修@5,000×2人×2回
	その他	0
	<b>小計 ①</b>	152,680 円
対象外経費	人件費	0
	仕入代	5,000 バザー商品仕入代
	ボランティア活動保険料	1,500 ボランティア活動保険@100×15名
	寄附金等	0
	助成金返納	0
	積立金	40,000 事務作業用パソコン購入費(@40,000×2年予定)
	次年度繰越金	13,920
その他	0	
<b>小計 ②</b>	60,420	積立金の目的と予定を必ずご記入ください。
<b>合計 (① + ②) ※1</b>	213,100	次年度繰越金が今年度助成を受けた金額以上になった場合、 <b>来年度は本助成金の申請はできません。</b>

※1 収入と支出の合計欄は、必ず一致するようにしてください。

(様式7)

記入例

(助成金返納有り)

令和6年度金沢市福祉ボランティア活動育成事業 収支決算書

団体名 ボランティアグループ〇〇〇

(単位:円)

収入	決算額	内訳(必ずご記入下さい)
本助成金(決定額)	70,000	金沢市福祉ボランティア活動育成事業決定額
他の助成金・補助金等	0	
団体・グループ年会費	30,000	@2,000×15名
参加費・売上金等	0	
積立金	30,000	配食サービス用エプロン購入@2,000×15枚
前年度繰越金	7,700	
その他の収入	0	
<b>合計 ※1</b>	<b>137,700</b>	

(単位:円)

支出	決算額	内訳(必ずご記入下さい)
対象経費	通信費	1,680 切手@84×20枚
	賃借料	5,000 ○○公民館使用料
	消耗品費	3,000 コピー用紙、ボールペンなど
	器材等購入費	30,000 配食サービス用エプロン購入@2,000×15枚
	原材料費	32,000 配食サービス用食材購入
	交通費	0
	会議費	9,000 お茶代@150×15名×4回
	研修費	20,000 認知症・傾聴についての研修@5,000×2人×2回
	その他	0
<b>小計 ①</b>	<b>100,680</b>	<b>助成金返納額計算例(令和2年度以降に初めて助成を受けた場合)</b>
対象外経費	人件費	0
	仕入代	0
	ボランティア活動保険料	1,500
	寄附金等	0
	助成金返納	20,000
	積立金	0
	次年度繰越金	15,520
	その他	0
<b>小計 ②</b>	<b>37,020</b>	
<b>合計(①+②) ※1</b>	<b>137,700</b>	

助成金返納額計算例(令和2年度以降に初めて助成を受けた場合)

$100,680 \text{円} (\text{対象経費}) \times \frac{1}{2} = 50,340 \text{円}$

$\approx 50,000 \text{円} (\text{助成上限})$  ※1,000円未満切捨

$70,000 \text{円} (\text{本助成金決定額}) - 50,000 \text{円} (\text{助成上限})$

$= 20,000 \text{円} (\text{助成金返納額})$

令和2年度以降に初めて助成を受けたグループの場合  $\frac{1}{2}$

平成31年度以前に初めて助成を受けたグループの場合  $\frac{1}{3}$

※1 収入と支出の合計欄は、必ず一致するようにしてください。